

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	令和6年2月1日
団 体 名	常和区		
事 業 名	小さな村のSDG s 事業		
事業経費③	495, 142	円	支援金額⑨ 65, 000 円

事業の目的・内容	地域の課題 佐久市常和区では、近年の少子高齢化や台風災害などにより地域の生活環境の維持や地域の活性化が大きな課題である。
	事業内容 地球規模での目標であるSDG s 社会の実現に向け、地域の特性である里山・農地の再生や地域エネルギー（バイオマス、水力）の活用に着目した取組みを進める。 ①地域エネルギーの自給プロジェクト ②里山景観の再生プロジェクト ③交流促進プロジェクト ④広報・情報発信プロジェクト

事業の活動実績	①地域エネルギーの自給プロジェクト 里山整備に伴い発生する間伐材を木質バイオマスとして薪に加工し、再生可能エネルギーの利用促進を図った。200束を確保・供給（CO2削減量約2t） 小水力発電は、安定した河川流量がなく実現化は困難と判断。 今後バイオマス発電の可能性を検討 ②里山景観の再生プロジェクト 荒廃山林と耕作放棄地を再生し、良好な里山景観を取り戻した。また再生されたエリア内をフットパスで結びつけ、里山利用の促進を図った。 荒廃山林の再生 : フットパス1.5kmの倒木処理、サイン看板整備 耕作放棄地の再生 : 約2haのお花畑化（自主事業） ③交流促進プロジェクト 地区内外の交流を促進するため区の自主事業としてイベントを実施した。 イベントの開催：つつじ祭り、野菜収穫祭の開催 : 2回 イベント参加者約500名 ④広報・情報発信プロジェクト 取組みを内外に広く発信した 地域情報誌の発行 : 1回（1回の発行で2回分（8ページ））
---------	---



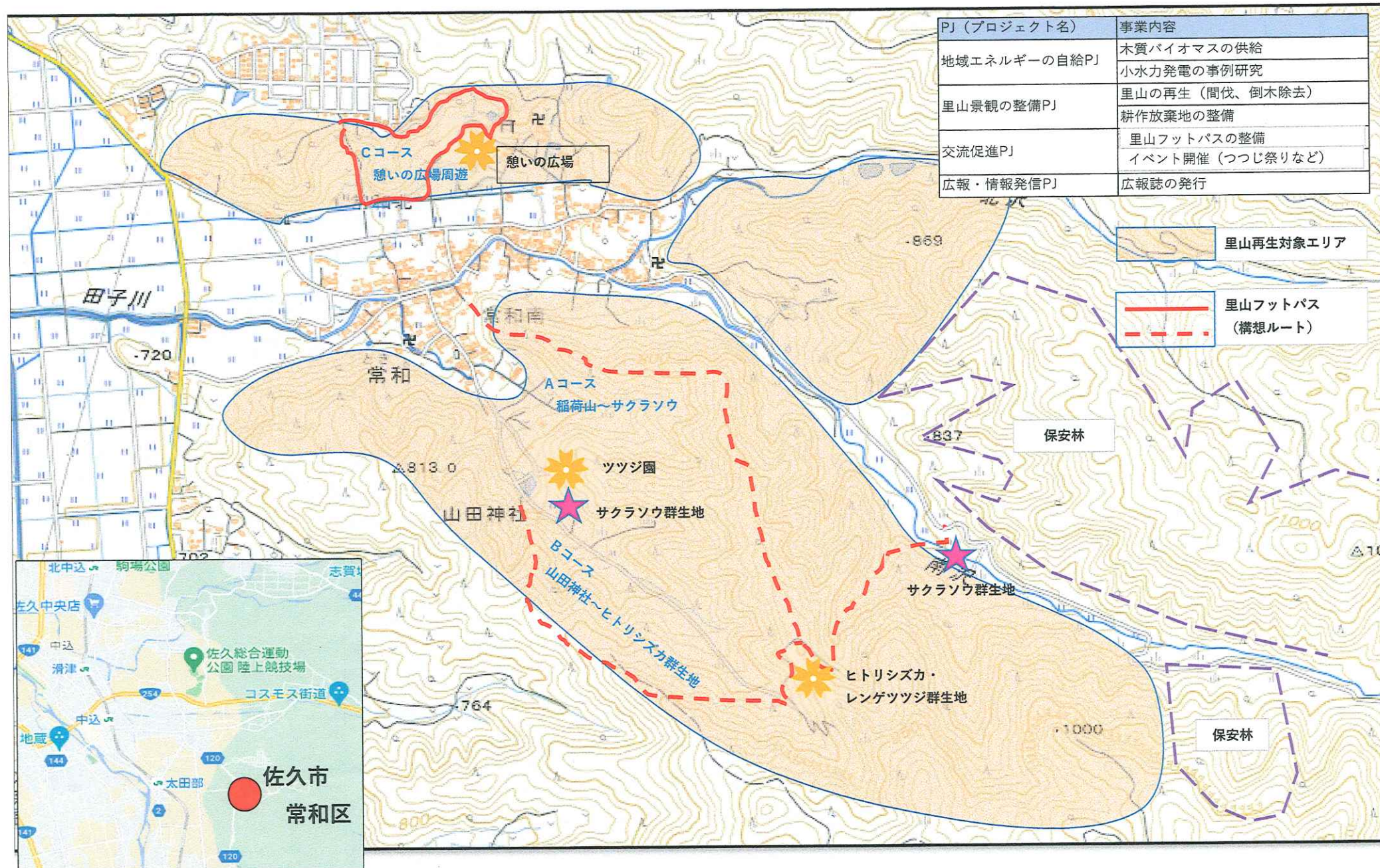
別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	①地域エネルギーの自給プロジェクト 2回の森づくり勉強会により森林整備に係る事業手法等を学ぶことができた。 また、勉強会を通じて住民の中に里山づくりへの興味や重要性を認識するきっかけ作りができたと考える 再生可能エネルギーについては、地域固有の財産である森林の活用による木質バイオマス発電の可能性について目を向けることができた。
	②里山景観の再生プロジェクト 荒廃山林と耕作放棄地を再生し、良好な里山景観を取り戻すことができた。 フットパスについては、利用者から好評を得ており、今後山田神社側でも実現化に向け動きが出てくるなど波及効果を確認できた。
	③交流促進プロジェクト イベント開催により地区外からの参加者も多くなり、目的とした交流促進を図ることができた。 また、参加者の増加により今後のプロジェクト継続への意欲も共有することができた。
	④広報・情報発信プロジェクト 取組み内容を内外に広く発信できた。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 <u>あまりできなかった</u> 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 昨夏の猛暑により活動回数が減少するなど当初の目標は達成できなかった。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 <u>概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 活動回数の減により大きな効果が得られたとは評価していないが、SDGsの浸透や森林づくりへの意識を高めることができた。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 <u>大幅に変更している</u> 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 木質バイオマス（薪）の生産目標が約20%に留まるなど活動回数の減に伴い、当初計画より約4割強減額となった。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	・森林整備事業の実施に向け地元の体制づくりを進めるとともに、県、市など関係行政機関との連携により事業を積極的に展開していきたい。 ・山田神社側へのフットパスルートの拡大について、今後さらに取組みを進めていきたい。
---------	---



地域エネルギーの自給プロジェクト

木質バイオマスの有効活用（イメージ）

佐久市 常和区

森林整備事業



伐期を迎えたカラマツ林等
(保安林 (市有林等))



松枯れによる倒木、
荒廃した里山 (民有林)



間伐された里山
(民有林)

雑木・未利用材

製材用原木

事業者

伐採、搬出、造材

常和区



個人

事業所

薪ステーション

区民参加により薪に加工

(玉切り、薪束)

・供給 (運搬、販売等)

※公益性に配慮し、特定のユーザーのみに供給はしない。

既存ユーザー

薪ストーブ・
薪風呂等

新規ユーザー

掘り起こし



業務用ボイラー



キャンプ場等

【プロジェクトの主な狙い】

- ・ 森林整備に伴って発生する不要材を薪に加工し、地域の中でエネルギーとして活用する。
- ・ エネルギー価格の高騰を背景として、石油等の化石燃料からバイオマス燃料への転換を図るユーザーを掘り起こすなど中長期的な取組みによりCO₂削減に貢献する。
- ・ 薪を燃やす際の精神面での癒し効果や、灰を化学肥料の代替として利用できるなど副次的な効果を得ることができる。
- ・ 地域の協働作業として実施することにより、持続的なコミュニティを形成できる。

小さなむらのSDG s 事業

佐久市 常和区

常和区では、SDG s（持続可能な開発目標）の実現に向け、身近な課題の解決を通じて持続可能な地域づくりに取り組んだ。

地域のテーマ

の ふ
再 生
・ さ
活 と
用 環
境

- ・ 地球温暖化防止に取り組む
- ・ 自然豊かな常和の環境を守る

具体的な取組

- 地域エネルギーの自給プロジェクト
 - ・ 木質バイオマス（間伐材）の有効活用
 - ・ 小水力発電の可能性研究
- 里山景観の再生プロジェクト
 - ・ 里山の再生（間伐等）
 - ・ 耕作放棄地の再生

SDG s 目標



地 持
域 続
づ 可
く 能
り な

- ・ 人をひきつける地域をつくる
- ・ 多くの人に伝え・交流する

- 交流促進プロジェクト
 - ・ 里山フットパスの整備
 - ・ イベント開催（つつじ祭りほか）
- 広報・情報発信プロジェクト
 - ・ 地域情報の発信

活動状況

地域エネルギーの自給プロジェクト



R5.9.30 第1回森づくり勉強会

佐久地域振興局から講師を招き里山整備などについて勉強会を開催した。(約20名参加)

9月～11月 間伐作業、フットパス整備



R5.12.10 第2回森づくり勉強会

- ・チェーンソーの安全講習会
 - ・薪づくり作業
- (約30名参加)



活動状況

里山景観の整備PJ・交流促進PJ



R5.5.21 つつじ祭り

来場者約500名

春～夏 耕作放棄地の再生（花植え、種まき、草刈り）



R5.11.12 大根収穫祭

来場者数約300名

安全具 1 式



R5.12.10
第2回森づくり勉強会
安全講習会



常和の里山フットパス サイン看板 & 広報表示

